

2023年度以降の計画について

【目次】

- | | | |
|-------------------------|-------|----|
| 1. 2023年度以降の維持管理活動について | | P2 |
| 2. 2023年度以降の連携・協働活動について | | P4 |

【堂本委員長】

- 2023年度以降の計画案です。
- 詳細は事務局より説明をお願いします。

1. 2023年度以降の維持管理活動について

(1) 2023年度維持管理スケジュール案

- 2023年度は以下の維持管理活動を下表の通り予定しています。
- 上池 ・2022年度と同様に継続した維持管理作業を実施します。植物の繁茂状況に応じて、必要な作業を実施します。
- 中池
 - ・サクラソウ群落再生地 : 2022年2月に移植した草花の状況を見守りつつ、適宜植え替え、移植作業を実施します。
 - ・チガヤ群落再生地 : チガヤマット等を活用した移植作業を実施します。(P.3 参照)
 - ・オギ群落再生地 : S財団と連携しオギの掘り取り・移植作業を実施します。
 - ・河原草地 : つばさ北小と連携してカワラナデシコ等の荒川の草花の移植作業を実施します。
- 下池
 - ・2019年度整備地に発生したハンノキ幼木および6/18に確認したハンノキ幼木について生育状況を見守ります。

地区・管理対象		維持管理		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
上池	旧流路整備地	①呑み口	ゴミ除去・周辺の除草：5月、9月の2回（出水期前と台風シーズン前）		●				●							協議会実施	
		②導水路	通路付近の除草：適宜														必要に応じて協議会実施
		③整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：5・6月の開花時期に1回		●	●											協議会実施
	モトクロス場跡地整備地	④通路	管理用通路の除草：適宜														本田航空が適宜実施
		⑤-1 整備地	植生管理（オオカワヂシャの除去等）：5・6月の開花時期に1回		●	●											協議会実施
	⑤-2 整備地	植生管理（オオバタクサ、アレチウリ、セイタカアワダチソウ、シンジュ、ハリエンジュ、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ）の除去等）：9月・11月 オギの除去・土壌攪乱（目標種再生）：必要に応じて12月に実施	モトA・モトD全般等 サイサン 新人研修						●	●	●					協議会実施	
中池	保全エリア	⑥保全エリア・通路	植生管理（オオバタクサ、シンジュ、クワ、在来つる性植物（カナムグラ・クズ・ツタ類）の伐採）：4月・5月・6月・9月・10月・11月 保全エリアの除草：適宜		●	●	●		●	●	●	●				協議会・一般参加者実施	
		⑨再生地3D	植生管理（移植候補地の外来植物除草・ヨシ・タケの伐採等）：4月～10月に毎月 冬刈り：11～1月に毎月		●	●	●		●	●	●	●	●				協議会・一般参加者実施
下池	ハンノキ移植地	⑦実施計画範囲	移植したハンノキ周辺のつる性草本、アレチウリ・クズの除去、下池幼木箇所除草：6月、9月 幼木の移植			●			●							協議会実施	
	サクラソウ群落再生地	⑩-1再生候補地	植生管理（移植候補地の外来植物、つる性草本等の除草）：－ 植生管理（移植候補地の冬刈り）：－													当面保留	
		⑩-2再生候補地	植生管理（移植候補地の冬刈り）：－													当面保留	
全体	⑧看板	看板周辺の除草：イベント前に適宜対象箇所を実施														協議会実施	
	維持管理検討のための巡視	巡視ルートを巡視し、維持管理活動の内容を検討する											●			協議会実施	

大和ハウス
S財団

現地状況に応じて実施する可能性があります。

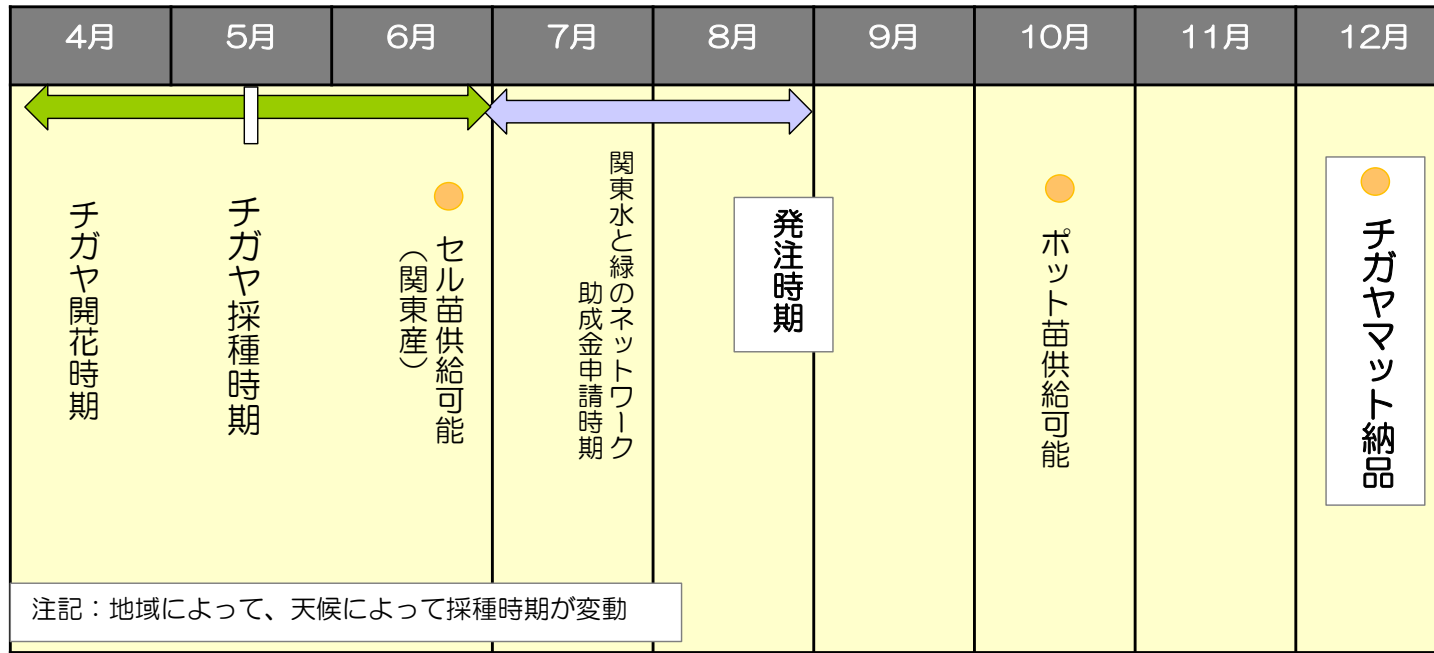
ハンノキ移植後の見守り

1. 2023年度以降の維持管理活動について

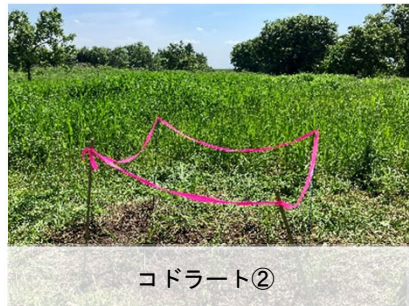
(2) 中池 チガヤ群落/チガヤマットの導入案

- 2022年度は、本田航空株式会社敷地にあるチガヤ群落*より掘り出したチガヤ27株を対象コドラート2カ所へ移植しました。2023年度は、より広範囲でチガヤ群落を創出できること、作業工数の簡素化等の理由からチガヤマット導入の検討を提案します。
*本田航空(株)様の事前承諾の元実施しています。
- チガヤマット導入までのスケジュール例を以下に示します。

【チガヤマット発注から納品までのスケジュール例】



【2022年チガヤ移植】



移植場所

・コドラートは、維持管理の都合からアクセスしやすく、また、来場者の目にとまりやすい2地点、北側と南側に離して設置しました。



2. 2023年度以降の連携・協働活動について

● 2023年度以降の連携手協働活動を下記の通り予定しています。

■ 東京デザイン専門学校	目的：自然再生事業の認知拡大	内容：連携講義の実施（2023年1月以降に協議）
■ つばさ北小学校	目的：中池・河原草地形成の推進	内容：児童による自然再生活動の一貫としての環境学習の提供 年2回
■ S財団	目的：中池・オギ群落形成の推進	内容：環境保全プログラム（4月と12月に実施予定）
■ (株)サイサン	目的：中池・河原草地の条件整備	内容：新人社員研修として除草作業等実施
■ 大和ハウス(株)埼玉支社	目的：中池保全エリアの環境整備	内容：社会貢献として除草作業等実施

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
マーケット リサーチ										・エコプロ2023				
協働・連携	学校関係	つばさ北 小学校	・環境学習①						・環境学習②					
	桶川西高校	・かわじまはるか ぜウオーク（科学 部）							・川島町農業商工 祭（科学部）					
	イ東 学京 校専 門サ	連携講義の内容調整(予定)		連携講義の実施(予定)					成果の評価、表彰式(予定)					
	団体	S財団	・環境保全活動① (2022年プロ グラム)								・環境保全活動② (2023年プロ グラム)			
	NPO・ 民間企業 等	・(株)サイサン新 人社員研修			・(公財)サイサン 環境保全基金助成 申請				・大和ハウス社会 貢献					

桶川西高校へ事務局参加を提案しています。

【事務局メモ】

S財団：一般財団法人セブン-イレブン記念財団
S大学：聖学院大学